

差出人：宮嶋悠希子

所属：J04-鬼の子

題名：HGM\_CORE1-18 速読力UPの準備 アウトプット

メッセージ本文：

【オウムアムア】

・8倍

オウムアムアとはハワイ語で「最初の使者」、土星の軌道、直径400m、幅40m、  
細長い、葉巻型UFO、厚さ30cm

天の川天文台、ガイア、3Dマップ、2020年に...

オウムアムアが謎の加速をしている、太陽の重力で原則、太陽から遠ざかりつつあ  
る、ガスの噴出

宇宙人、アルファ・ケンタウリ。さすがアメリカ人、油断も隙もありません！

宇宙人が知らない未知の通信手段、電波は確認されていない

時速40kmの猛スピード、地球外文明の証拠となる電波は確認されていない、どこ  
からきたのかよくわかってない

太陽系の外へやがて旅立っていく



みんな天才化機構  
All Geniuses Association

・5倍

今日の世界じっくりに紀行は、オウムアニアについてお話します。

オウムアニアとは、ハワイの天文台が観測した史上初めての恒星間天体、ハワイ語で『最初の使者』

直径400m、幅40m、周期8時間、厚さ30cm、彗星、葉巻型、非常に珍しい形

岩石と炭素、だから彗星のように尾を引かない、すでに土星の軌道近くにいる

オウムアニアはどこからきた？

観測、ガイア、天の川銀河の3Dマップ、2020年代には

オウムアニアは加速している？

オウムアニアが謎の加速をしているという説。太陽の重力によって減速してるはず、

しかし計算よりもオウムアニアの移動が早い

ガスは微量なのかまったく出てないのか、確認されなかった

地球外生命体の探査機？

地球外生命体が探査機である可能性...、電波の発生は確認されなかった

実はこの話には裏がある。???プロジェクト、ソーラー...

アルファ・ケンタウリ、自分たちが考えつくなら宇宙人も？さすがアメリカ人、油

断も好きもありません！



みんな天才化機構  
All Geniuses Association

しかし地球外生命体のものである可能性は否定できない、地球人には未知の技術なのかもしれないから

時速 40km の猛スピードで移動する恒星間天体、どこからきたのかよく分かっていない、謎の加速をしている、地球外文明の証拠となる電波は確認されていない  
太陽系を超えて宇宙の彼方へ飛び去って行く

・ 3 倍

今日の世界じっくり紀行はオウムアニアについてお話します。

オウムアムアとは、2017 年にハワイの天文台で観測された史上初の太陽系外からの恒星間天体で、ハワイ語で『最初の使者』の意味を持つ。

2018 年ですでに土星の軌道付近に到達している。

オウムアムアとは。

長さ 400m、幅 40m、8 時間周期で回転、時速 40km、炭素と金属で出来ていて、その表面は厚さ 30cm の炭素で覆われている。

太陽系外からの双湾曲性？ (恒星間天体)、その正体は彗星と考えられています。

細長い形で、葉巻のよう。葉巻型 UFO などあるがまさにあんな感じです。

オウムアムアは厚さ 30cm の炭素の被膜に覆われ、超新星爆発...、太陽の熱にさらさ



れなかったため内部に氷が残り、彗星のように尾を引かない。

オウムアムアはどこからきたの。

衛星ガイア、ESA、天の川銀河、過去の天の川銀河の3Dデータも見れるため、

それらのデータから可能性の高い4つの恒星を割り出しました。

これらの恒星は太陽と同じくらいかそれより小さいくらいの大きさだそうです。

これらの恒星には伴星、惑星は発見されておらず、オウムアムアはどこからきたんでしょうね？

2020年代にはESAの観測結果...楽しみです！

オウムアムアは加速してるのは本当？

オウムアムアが謎の加速をしてるのを知っていますか？

ESAの観測結果よりすこし早い位置にいます。研究チームは、オウムアムアが彗星のため、ガスを噴射しているからではと考えました。

しかし、そのようなガスはあったとしても極微量なのか、塵が含まれていないのか、確認されませんでした。

そこで、オウムアムアが地球外生命体の探査機ではないかという説もあります。

ソーラー??の推進力で加速しているという説です。ハーバード大学の???教



授が発表しました。

この教授が関わっているものにスターショット・プロジェクトというものがあるがアルファ・ケンタウリにソーラー???で短時間で探査機を送ろうというプロジェクト。

なんだかこの2つは似ていませんか？

人間が考え付くのなら、宇宙人がすでにやってもおかしくないということでしょう。

もしかしたらオウムアムアの人気にあやかっただのかもしれませんが。さすがアメリカ人！油断も隙もないですね！

オウムアムアから地球外生命体のものと思われる電波は確認されてない。残念です。

しかし、だからといって我々の知らない未知の技術が仕込まれている可能性は否定できません。ロマンが広がりますね！

オウムアムアは2017年に発見された史上初の太陽系外からの恒星間天体。

時速40kmの猛スピードで太陽系を離脱しつつある。どこからきたのか良く分かっていない。謎の加速をしている。

地球外生命体の証拠となるような電波は確認されていない。

このようにオウムアムアについてはよくわかっていませんが、これからの研究結果



が楽しみです！

### 【パンスルミア】

・ 8 倍

生命の起源は地球？宇宙？パンスルミア説とは、生命の起源が宇宙にあるとするもの

生命の起源...海底熱水噴出孔、陸上火山、火星などのほかの天体

熱水噴出孔、海底にある火山、チムニー...アンモニア、メタン、鉄、高温高熱、イエローストーン、熱泥、しかし決定的な証拠がない

スウェーデンの学者、バカにされていたが...最近になってパンスルミア説を有力視する声が増えた

微生物が隕石に付着、火星由来の隕石、1 t、隕石の深部で微生物は生存したまま大気圏の突破が可能、JAXA、たんぽぽ計画

・ 5 倍

パンスルミア説について詳しくお話していきたいとおもいます。



みんな天才化機構  
All Geniuses Association

地球はたくさんの生命に溢れています。これらの生命の起源は地球であるというのが主流な考えでした。

しかし、近年では生命の起源が宇宙であるという説が息を吹き返しつつあります。

生命の起源について主に3つの説があります。

深海の熱水噴出孔、陸上の火山の熱泥泉、火星など他の天体からきた

熱水噴出孔とはミニ海底火山をイメージしてもらえれば分かりやすい、チムニーのようなものから...

メタン、アンモニア、また生命の誕生に欠かせない重金属イオンがある、高温高熱熱泥泉は水蒸気が噴き出す、ドロドロ...アメリカのイエローストーンで見られる、化学反応

いずれにしてもどこで生命が誕生したか決定的な証拠がない

それに対して panspermia 説は火星などほかの天体から地球へやってきたというもの

スウェーデン、微生物が隕石にくっついてやってきた

色物扱いされてバカにされていた説だが、近年、微生物が隕石などに付着して宇宙空間を移動できる可能性があきらかになって息を吹き返した。

例えば火星で火山の大噴火があったとする、その岩石が宇宙空間へ飛び出して地球



へ...

年間 1 t もの火星由来の隕石があるといわれている。

微生物は宇宙空間で生存できるのか？大気圏突破に耐えられるのか？いずれも可能性があることがわかった。

ロシア実験、玄武岩、岩の表面は 1000 度だが深部まで熱はとどかなかった。

日本の JAXA、たんぽぽ計画、宇宙空間での微生物の生存、内側を死骸が守る

深海の熱水噴出孔、陸上の熱泥泉を生命の起源とするには決定だが欠ける

生命の起源が火星など他の惑星から由来できる可能性がある

謎は深まるばかり！

・ 3 倍

生命はどこからやってきたのでしょうか？

この地球は様々な生命で満ち溢れています。これらの生命はどこからやってきたのでしょうか？地球？宇宙？

地球が起源であるというのが主流な考えでしたが、近年は死滅したはずの宇宙を起源とする説が息を吹き返してきました。

そこで、今回はパンスルミア説についてお話したいと思います。



パンスルミア説とは。

生命の起源は主に3つの説があります。

深海の熱水噴出孔、陸上の火山地帯の熱泥泉、火星など宇宙のほかの天体

最も有力なのが深海の熱水噴出孔です。

熱水噴出孔は海底にあるミニ火山を想像してください。

チムニー(岩石でできた煙突、300℃)から熱水が噴き出しています。

生命は化学反応によって生誕します。熱水噴出孔は化学反応が進みやすい条件が整っています。

メタン、アンモニア、水素...など揃っている

高温、高圧である

鉄、亜鉛、重金属イオンなどが豊富

熱泥泉はイエローストーンなどで見られます。

火山から吹き出す水蒸気によってドロドロに溶かされた泥です。

高圧という点以外は化学反応の条件が整っている。

細胞、カリウム、ナトリウム...原始的な、未発達...

以上から、熱水噴出孔ではなく熱泥泉を有力とする考え方も増えつつあります。

しかしどちらも決定的な証拠はありません。



これに対して、パンスルミア説とは、生命の起源は火星など宇宙にあるとする考え  
方です。

19...年、スウェーデンの科学者。

微生物の胞子のように付着して地球へやってきたという説。

しかしこの説は色物扱いされてきた。

だが、近年、このパンスルミア説が息を吹き返してきた。なぜか？

近年、微生物が隕石などに付着して宇宙空間を移動することが可能であることが分  
かってきたからだ。

例えば、火星の火山で大噴火があったとします。

火山の岩石が宇宙空間へ飛び出し、地球へやってきたら...

確認されているだけでも 12 個の火星の隕石が落ちてきています。

また、年間で約 1 t の火星由来の物質が落ちてきているとも言われています。

昔の火星は温暖な気候で海もあったので生命がいた可能性は高い。

しかし、ハードルがあります。

微生物は噴火に耐えられるか？宇宙空間を移動できるか？大気圏突入に耐えられ  
るか？



これは研究結果で可能性があることがわかっています。

たとえばロシア、微生物を仕込んだ玄武岩を落下させました。

岩の表面は1000℃までいきましたが、深部の微生物は生き残っていました。

そして、JAXA などによるたんぽぽ計画とは。

宇宙空間での微生物の採集、生存実験。

とある微生物は1年以上生存した、外側の微生物は死滅したがその死骸が内側の微生物を守ったのです。

そして小惑星???の採集に成功。現在、たんぽぽ計画は鋭意研究中です。

パンスルミア説を支持する声が勢力を増してきているのは以下の理由からです。

深海の熱水噴出孔、陸上の火山地帯の熱泥泉を生命の起源とする説が有力だが決定打に欠ける。

宇宙で微生物が生存可能な可能性があることから、隕石などに付着して地球に到来した可能性が高まってきた。

それにしても地球へやってきた生命はいったいどこで生まれたのでしょうかね。

ますます謎は深まってしまいますね！



## 【アウトプット】

実はオウムアニア、パンスルミアは日々の習慣で世界じっくり紀行を高速聴学したとき何度か見ていたので、その時の記憶もあり復習にもなりました！

8倍速音声なしは、目でギリギリ終えていますけどまだまだ読もうとしてしまう癖があります。

文字の認識も出来てはいますが、見終わった後のアウトプットで中々出てこない！知っている中でも簡単な単語か、もしくは逆になんて読むのか？興味がわいて覚えていた単語のどちらかが記憶から引き出せました。手こずりました。

逆にその後の5倍は驚くほど遅く感じました。最初3倍速かと思ったほど。

なので、なるべく視線を中央に固定した状態でゆっくり全体を俯瞰して見れました。

文字の認識は余裕で出来ていました、字幕が出終わった後次の字幕が出るまで1秒～1.5秒くらいの猶予がありました。

が！アウトプットとなると頭の中で残像になっている言葉が混とんとしていて、整頓するのが難しかったです。

2つの動画は何度か視聴済みだったのでこれだけアウトプットできましたが、初めて見る動画ならもっとアウトプットの量は少なかった。



また、自分が知らない言葉は確かにほとんどがそもそも認識できないのですが...

逆に、まったく知らない単語でもなぜか頭に残り逆に興味を抱くこともけっこうあります。

そういう時はすぐにGoogle等で調べるとその単語の意味などが良く覚えれる傾向にあるように感じます。

興味がある状態で調べるから吸収率がいいのですね。

そこからもう一度動画を視聴すると、1回目より段違いで理解度が上がっていることにも気づきます。

そして、次の、認識できなかった(知らなかった)けど頭に残った単語が出てきます。

そしてそれをまたすぐ調べる...

学習とはこういう行動の反復なのですね。

知らないことを認識するためにも、多くの言葉・語彙を自分の興味のある事経由で知っていることは重要ですね。

知れば知るたび、逆に自分が何が分からないか分かるようになるという感覚を覚えしました。

分からない事を認知する→調べる、知る→言葉・語彙が増える→一瞬で認識できる幅



が広がる

という順序のイメージが湧きました！

これは緩消法で一か所を緩めていくと次の痛みの箇所がわかるようになる、というのと非常に似ていると感じます。

--

CORE1-18 速読力UPの準備 から送信されました。

<https://allgeniuses.org/core1-1/core1-18/>



みんな天才化機構  
All Geniuses Association